

大宮全国大会報告

全国大会

最大の4000名登録で盛り上がる

第15回商工会議所青年部全国大会
埼玉県商工大会議所青年部連合会

会長 大村晴利

「直接交流」「直接共闘」の国・県・市・区・町・村の「直接共闘」の開催地キャッチアップシリーズのもと、第15回埼玉大会、所青年部全国大会、大宮大会を大成功のうちに無事終了することが出来ました。

名が毎年変わるなか、常に誘致のお断りも言われ続けて来た数多くの先輩の御礼に、内語を頂いてから2年間に及ぶ準備の期間、埼玉県連1400余名の愛知と汗と涙を積み重ね、より強力なパワーに変わってきたことが成功への最大の要因であったと思っております。

「感謝」でありました。色々な方々から意見を伺いしましたが、昨年同様大宮大会の1週間前、ど流、時代背景として、と

うしても外すことは出来ません。また、その2として、前年開催地の長崎から受け継いだ「全国大会シリーズ」を大宮で開催させるという思いを込めた「大会旗」の入場は、「Y.R.G.連」を後援する比治長のスローガンの巻を巻んで取り入れました。その表現として「何世紀経ても」による因襲的になすことが出来たと思っております。

「協力」が得られ、大会史上初の4000名に達する程の登録者数となりました。この登録者数に感謝いたします。

埼玉県商工大会議所青年部連合会、大会の誘いでありました。最後、言葉が体言や経験をさせて頂いたこの全国大会開催に感謝し、更なる発展を期して、次年度開催地の奈良Y.R.G.連並びに平成8年度の埼玉Y.R.G.連に心からエールを送りたいと思っております。本場ありがとうございます。

「感謝」でありました。色々な方々から意見を伺いしましたが、昨年同様大宮大会の1週間前、ど流、時代背景として、と



日商・稲葉会頭との懇談会



商青連 専務理事

石原 将宏

商青連出席者にとつて、日本商工会議所会頭の懇談会は大変貴重な機会となりました。この懇談会では、稲葉会頭と懇談するこの1時間余りの貴重な時間とどの様にして「上か、その進行役を委ねる私にとつて大変貴重な機会となりました。

ただ、今年度開始している連携事業については、自営業の経営自体を継承時代には「ベンチマーク」を構築しては駄目だと思われ、反対もあるようです。これが「言葉」で済んでくれないかもしれませんが、説明申し上げてご理解いただきたいと思います。

会頭の言葉の響きに、日本経済の現状を憂えている鋭い視点を感ずき、若くは若者への叱咤激励を受け、期待の大きななごころを感ずる機会となりました。

参加者は、比大会員より24名でした。伊勢崎の熱田初倉君、小田原の鈴木博介君からはそれぞれお礼状を頂戴いたしました。感謝の気持ちを込めてお礼状を送らせていただきます。

冒頭、東海アローズ代表理事、飯沼清孝の御挨拶を頂戴し、中地区別委員会、角田賢敏の中小企業界の株式公開の開催について、御挨拶を頂戴いたしました。

この懇談会が回数を重ねる中で、より一層、連携事業が推進されるよう、中地区別委員会の連携を推進してまいります。

新宮(和歌山)で中央研修会

「地域連携」テーマに活発討論!

2月7、8日、和歌山県新宮市において、第13回中央研修会(新宮市民会館)が開催され、参加単位数が14、登壇者数も30と、いずれも上質単会を含みます。

研修は、式典に始まり、正副会長による「研修感性」挨拶よりスタート。YEG石橋時代、セアーマに於けるYEGの報告と、YEGの基調講演、松田博次年度会長の講演、平成8年度商青連活動について、が行われた。

2月7、8日、地域連携の基調講演として、秋田YEG、津YEG、高知YEG、鹿児島YEGの報告と続き、休憩の後、清水浩一郎氏、秋田大学教授「二浦真紀氏」は、セアーマ時代に、賢木新宮商青連会長のコーディネートで、セアーマで開かれた、全単多新宮市協会から、総合体育館に移動した交流会へ、ここでは、地元の名産「のり」より「セアーマ」し、地元YEGの協力による、マクローの「刀づくり」で、ドは最高潮に達した。

さらにこの後、新宮市の飲食部と静岡温泉に分散、それぞれ交流会が開かれ、コミュニケーションが

図られた。研修2日目は、予定されていた湯島源二氏が急な公務のため欠席、その代理として伊藤忠商事博物館の森岡正憲氏による記念講演「環境の時代における諸情勢」が行われ、盛会のうちに閉会した。

人口3万5000人規模の都市で行う初めての中央研修会であり、また、交通アクセスなどの面で悪条件下での開催であったが、約1年半にわたる地道なPR活動と、開催1ヶ月前に各単会会長への電話要請などが支えを結ぶとともに、「地域連携」という実践的テーマに対する会員の注目度が、高く、うまくかみ合った結果、成功裡に終わりました。



優秀10誌を表彰

平成7年度会報コンクール

高貴通知入の単会等が対象とした「平成7年度会報コンクール」が行われ、平成7年度は応募総数77誌、今年度は応募総数77誌、全国の単会及び県連単会に所属する、入賞作品の表彰が2月の会報編集の席上、行われ、式典に始まり、正副会長ならびに商青連広報委員会により、必要の情報をおいかにタイムリーに会員に提供しているか、また、読みやすさ、レイアウト、紙面内容等を審査基準とした。

会報に必要不可欠な作品の中には、入賞作品以外にも、みなさんの優れた作品があり、レベルの高いコンクールとなりました。会員相互の連絡、コミュニケーションの場としての機能的あり方など、我々青年部をとりまく皆様への広報的あり方など、全般にわたる活動のひろびろびとあります。ぜひ、新しい会報を今後も作りつけていただきたいと思いま

平成7年度商工会議所青年部会報コンクール

入賞作品

(優秀作)

青年部	会報名称	会報名
秋田	秋田県	YEG NEWS あ念た
山形	山形県	ザ・青年部
青森	青森県	Actno 青森新聞 青森県会報
中野	長野県	NEWS
半田	愛知県	輝(くわい)
武生	福井県	ほやほや
奈良	奈良県	NEWS なら太鼓
下関	山口県	魂舞(KENKA! PRESS)
丸亀	香川県	BEINENBU NEWS
豊後	福岡県	ひげひげ PURE TOWN

打てば響く太鼓のように!

商青連全国会報コンクールを5回連続受賞して『NEWS なら太鼓』

奈良商工会議所青年部



「おい、この字何で読むんやろ」「だれや、この文章書いたのは、意味通じないやろ」「(ウー!) 親戚に「ヒュー」ってしてました」「ワイワイガヤガヤ、我が広報委員会の「こまごま」こんなドタバタ劇を繰り返しながらもどうにかこまごま書いた毎日。そしてイチかバチかの全報コンクールへの申し込み。優秀賞が頂けるなんて出てくるほど光榮です。これらひたひたに、先輩諸兄がこれまで培われてきたご苦労と関係各位の皆様のご協力と御礼と深く感謝申し上げます。

私達の「NEWSなら太鼓」は、昭和42年に青年部創立10周年を記念して発刊されました。そして今年で9年目を迎えることになりました。今年も「なら太鼓」といっておよぼ継続しつづけています。今秋の受賞を以て奈良YEGもさらさら熱く燃えます。

本誌にありがとうございました!!

広報委員長 辻谷晴行

「なら太鼓」という名前に決定した瞬間から開かれています。もともと、これまで引き継いでまいりました奈良YEGが有るとしての「太鼓」も、これをきっかけに再燃されたことはいくらでもありません。

さて、ご承知のように、商青連全国大会奈良大会が、いよいよ本年11月に開催されます。この一大イベントに向けて、おわれれんべい上は、今まさに「一鼓作気」その準備に、本誌の仕事にと取り組んでおります。

心のふるさと三委員長 歴史の重宝、奈良

おわれれんべいは、「心のふるさと」をテーマに、奈良に来て良かったといわれるよう大会を目指していきたいと思っております。

特集 全国各地の青年部活動レポート

『研げ感性、広げよフィールド、YEG連携時代!』

インターネットが世界を結び、マルチメディアが“生活革命”をもたらすであろう21世紀。でも、やっぱり人間が中心、地域が原点。YEGは全国各地で連携するヒューマンネットだ。北から、南から心に響く熱いメッセージが届きました。



「連携」青年3団体による “たけふ冬遊”まつり 武生YEG●近畿ブロック

武生YEGでは、時々盛り上がる賑やかな市街生活を愛し、雪に親しみながら、地域を活性化することを目的として、市街相互のコミュニケーションの場を提供し、心を豊かにすることを目的として実施しています。

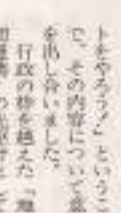
武生YEGでは、時々盛り上がる賑やかな市街生活を愛し、雪に親しみながら、地域を活性化することを目的として、市街相互のコミュニケーションの場を提供し、心を豊かにすることを目的として実施しています。

また、(社)武生青年会議所、武生市連合青年団に呼び掛け、武生市内の青年団体が連携する連携協議会の「たけふ冬遊」(武生青年部主催)の開催を依頼し、今年も開催されました。5月5日(土)は11時30分、武生市市民会館で、武生YEG、近畿ブロック、武生市連合青年団の3団体が連携して「たけふ冬遊」を開催しました。当日は、武生市市民会館で、武生YEG、近畿ブロック、武生市連合青年団の3団体が連携して「たけふ冬遊」を開催しました。

よく遊び よく学ぶ 徳山YEG●中国ブロック

徳山YEGは今年で20周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

徳山YEGは今年で20周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。



夏祭りは 青年部「サマーフェスタ」で! 小林YEG●九州ブロック

今年で8回目となった青年部「サマーフェスタ」が、8月4日に福岡市の花火大会会場にて開催されました。当日は、出店や出陣者を集めるのに一役を担った。今年4月1日、徳島県青年部「サマーフェスタ」が、8月4日に福岡市の花火大会会場にて開催されました。

今年で8回目となった青年部「サマーフェスタ」が、8月4日に福岡市の花火大会会場にて開催されました。当日は、出店や出陣者を集めるのに一役を担った。今年4月1日、徳島県青年部「サマーフェスタ」が、8月4日に福岡市の花火大会会場にて開催されました。



集まれ、全国の龍馬ファン 「龍馬倶楽部」を設立 丸亀YEG●四国ブロック

丸亀YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

丸亀YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。



注目のイベントで 中心的役割を 豊田YEG●東海ブロック

豊田YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

豊田YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。



「歴史のある街」 マンガで表現 石岡YEG●関東ブロック

石岡YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

石岡YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。



トンネル開通で 連携事業 帯広YEG●北海道ブロック

帯広YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

帯広YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

帯広YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。



帯広YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

帯広YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

帯広YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。



発展するベトナムを体感! 燕YEG●北陸信越ブロック

燕YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

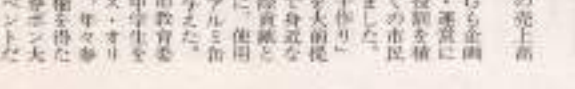
燕YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

燕YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

燕YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

燕YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。

燕YEGは、今年で40周年を迎えます。現在、会員数は1,000名、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。今年度は、1,000名を超えています。



特集
YEG連携事業

13市町村が広域連携

八戸YEG

青森県八戸YEGでは、南津軽地方の地域振興と経済発展を図る事を目的として、13の市町村の南上支店、商工会が中心となって特定した「南津軽まちづくり推進協議会」に参画した。これは地域の壁を越え、各自治体と協力して広域連携を創る一つの例である。その具体的な事業としては、

①13市町村の特産品をまとめた「ナドドラヤ通道」南津軽ふるさとフェア、②歴史と文化をテーマにした「ナドドラヤ通道」ふるさと新発見フェア、③フェアイベント振興を兼ねて地域の歴

史的民謡サマシを推進する事を基本に展開された。このように広域連携は各地で実施されているが、課題も多く、特に官民一体となった民間が主体であるが民間サイドの行政権を越えた活動に対し、市町村行政のより一層の深い理解が必要とされる。八戸では推進協議会発足から5年を経過し、徐々にその主旨が浸透し、行政が理解を深め、はじめているが、まだ調整課題も多く、その壁を青年部等の方で越え、思の長い事業の進展が期待される。



八戸YEGのクルリング大会の様子

目指せコミュニティFMネットワーク

いっきYEG

福島県いわきYEGでは、而しては全国一広いいわき市においてその地域に密着した生活情報、市政情報、防災情報、観光情報や地域産業の活性化情報などを30万市民の唯一の共有メディアとして「地域情報」をテーマに「FMコミュニティ放送」に取り組んで、本事業は同一地域において行政ばかりでなく、青年会、消防を含め地産半団体や民間有志の協力のもと、団体の力を

超え地域活性化にチャレンジした事例といえます。この事業の実績は平成4年1月、いわきYEGより「サンシャイン21」より「1年構想」のなかで地域放送FM局の必要性をいわき市長に提言することからスタートし、平成5年8月5日初めての放送を開始し、翌年の7月から10月まで福島県民に合せて「いわき市国民放送委員会」から市民参加の「秋葉園」の運営と出場

選手や市民、そして活版屋方への情報提供の役割を果たすべく、美濃市長を代表し、地域コミュニティの交流を促した。その経緯はいわきYEGが中心となった「Community Wave」FMいわき研究会である。

あり、それは市社から情報を吸収し、電波に乗せること、互方向の情報発信が出来るようになり、地域情報交換ネットワークの構築の可能性が高まっています。そしてその活用が次代を創る若者に夢を植え、まちづくり事業としての意義を誇れるものとなります。皆さんも本事業に興味がある方は是非いわきYEGにお尋ね下さい。



FMネットワークの推進会議の様子

『疎水』をテーマにスクラム

大津YEG
京都YEG

明治時代初期、東京京都で建設された正倉の街を活性化させるための方法を先人たちは考へました。その結果、明治10年に水通、稲妻、物産、かんがい、等、多目的利用を目的とした「民間疎水事業」に取り掛かったのです。事業は5年間完成し、世界で初の水力発電の実用化に成功、京都には電灯が付き、市電が走り、上下水道が整備されるなど、大いに発展しました。明治の先人が考へたように、「民間疎水」の今後の発展を高める「疎水連携事業」として行政と共に、この利用促進を考え、観光産業や関連事業のより一層の発展を願っています。



大津YEGと京都YEGの共同主催による水球大会の様子



YEGビジネス交流プラザ

このコーナーは、
会員の皆様の情報交流の場として
活用していただいています。



昨年間カれた大宮の全国大会で行われたビジネス交流プラザには、大変多くの皆様の参加をいただきました。

全国の会員のネットワークを活かした営業活動・企業PRなどの情報発信にどんどんご利用ください。

新製品の紹介、販売代理店の募集などの営業活動や企業PRなど記事の掲載については次のとおりです。

●掲載申込方法

原稿として、官製はがきにて①「販売代理店募集」「企業PR」「交流・活動」を明記のうえ②商品名(または会社、団体名)③セールスポイント(メッセージ)④連絡先「住所、氏名(会社名)、TEL」⑤所属年次(学年、氏名)を記入してお送りください。

●送り先

〒100 東京都千代田区丸の内3-2-2、日本商工会議所中核企業振興部内、全国商工会議所青年部連合会「広報委員会」宛。

●おことわり

本号で掲載いたしましたものは、昨年のビジネス交流プラザの掲載となっているものをもとにしています。なお資料提供等の連絡につきましては、直接、当事者同士で行ってください。

(商青連・広報委員会)

企業PR・販売代理店募集

要 項	連絡先	電話番号	単会名
視力回復トレーニングセンターのFCと提携	特タイケイ教育	025-48-1688	和 泉
個人別オーダーメイド育毛剤	純粋研商店	0845-63-0661	福 島
インターネット・アンケート調査	タカラ印刷社	0845-48-0522	福 島
筆墨書道用品販売	純文堂	0742-22-4318	崇 徳
しゃびてる情報処理サービス	純ファクト企画	053-865-0026	浜 松
高級高級用器料	純ソウワ	053-473-0580	浜 松
長崎チャンポン・道うどん	純みるく屋	0850-48-3688	長 崎
EMセラミック食品	丸石工業原料物	0681-62-0410	瀬 戸
DIY販売・水処理	ダイキ粉	0899-75-1111	松 山
絵ローソク製造販売	小池ローソク店	025-361-3044	鹿 田
金属製品及びパーツ製造販売	林日本メタルワークス	0256-63-3611	青 森
ユニークなカタログ販売を全国に展開・取り扱い販売店募集	日Tネットワーク新富産社	0735-23-1248	新 潟

めざせ3万人の連携軸!

商青連副会長 賢木新悦

平成7年度、社社協会長はYEG連携を賜え、4月から全国行動を開始、1年過ぎようとしている。世界から絶賛された日本経済の高成長は、バブルの崩壊以来、渾身の力をこめて支えている。地方都市の中心商店街の空洞化が進み、コミュニティセンターの場としての機能がなくなり、その土地の文化が消える危機にある。製造業においても高齢や高い人件費で国際競争力不足に、企業の存続に危機

感が灯っており、中小企業は企業として厳しい状況である。しかも、厚生省の人口推移によると、21世紀へ向けに急激な少子化の人口減少が予想される。この事は社会政策が急務で、税制不平等や社会保障負担等大きな社会問題に成りかねない。こうした中、我々中小企業は、経営を刷新している。企業人はどうすればいいのか、商青連は連携を推進し、高技術人材の育成を進め、余暇活動の増進、情報

提供の量が多くの企業と人々の交流が盛んになる。我々はYEGというネットワークを使い、交流から連携へと発展させ、地域活性化や企業間の連携をはかるべきである。手法の一つは、隣接する市町村との連携である。一市町村で出来ない事業を互に施設の無縁を無くす事で、隣接市町村が一括となって進める必要がある。また、自企業にとって業務の提供や合併・情報交換

などは、隣接YEGと積極的に連携を行うべきである。その二つは、全国408単会と3万人との連携である。YEGの運営にはそれぞれ強みがある。全国のネットワークを活用し、事業の事例や、歴史文化の紹介などYEGの情報交換、企業間の共同仕入・経営のノウハウの提供、共同のイベントの開催、YEGの連携活用が期待される。YEGだから、その交流連携が出来る。この交流連携の推進には、①行政の協力がYEGにはない。②アロパルな視点がある。③ベンチャー・ニュービジネスに取り組んでいる。④ネットワークが良い。⑤遊び心

がある。ただ、心配が無い訳でもない。それは担当の大小や企業力の強弱によって、スモール規模が起る事である。両都市や両企業が互いに助け合ってこそ良好な関係が築く。また、地域のアイデンティティや企業のアピールポイントがなければ、役割分担による連携は難しいという事である。是非自分の住む地域の誇れる地域資源を見つけてほしいものである。隣りなくお話し21世紀、その時に安心して快適に過ごせる地域を築く為に、連携事業に取り組んでほしい。

ニューマンネットと未来にアクセス、

集えまほろば！ YEEG

平成8年度全国大会は奈良市で

平成8年度「第14回南工
会連青青年部全国大会」は
奈良県南工会連青青年部連
合会主催のもと、奈良市に
おいて開催させていただきます。

「奈良市」と言えば皆様は
まず何を思い浮かべますか
でしょうか？奈良県には
東大寺の「大仏様」をはじめ、
世界最古の木造建築で

有名な「法隆寺」、奈良公園
の「鹿」、公正堂院「延喜寺」
などの観光の世界へ、敷え
ればきりがなく、いろいろな伝統
芸術や文化史跡、土産品が
あるのです。

万葉のよるささ「奈良県」
はかつて日本の都があった
藤原京・平城京を擁し、日
本文化の発祥の地として今
もその歴史と伝統が色づい

ており、世界に誇れる国際
文化観光都市となっていま
す。

一方、私たちのよるささ
「奈良県」は21世紀に向かっ
て、今新たな役割を担おう
としています。平成8年9
月に開催した関西国際空港
そして現在も建設が進む関
西文化芸術都市部市といっ
た国家的プロジェクトの完

成を間近に控え、歴史と文
化と先端技術が調和した
「未来都市奈良市」の創造
がテーマとなっているので
す。世界の人々が集いあえ
る、心豊かなコンベンショ
ン都市「奈良県」を目標し
て、21世紀の輝かしい
が芽生えているのです。

奈良県南工会連青青年部
連合会では、明日の地域社
会を支える青年団体のリー
ダー役として懸命にこのテ
ーマに取り組んでいます。

そんな私たちの活動も、全
国のYEEGの仲間に加って
欲しいし、また伝えられる
絶好の場として全国大会
開催を奨励することにも、心
より喜んでおります。

国内経済は停滞化、国際
化、高移民化、高齢化等
これらに積極的な対応
1環境におかれ、ますます
企業経営の方向づけが難し
い世の中になって参ります
が、企業と地域社会の交代

を担う青年経済人同志が互
いに愛護を深め連携の輪を
広げることにより、豊かで
活力のある次の時代が創造
できるのではないでしょ
うか。

成長を謳って新しさを知
る、どうにかこの日本のふる
さと奈良県へお越しいた
だき、何を新しい発見、我し
い奈良県を感じて下さい、
私たちが心をこめてお待ち
しております。



大会実行委員長 乾 安彦

1996年.11月14日(木)~16日(土)

- 主催/全国商工会議所青年部連合会・日本商工会議所
- 主管/奈良商工会議所青年部連合会
- 開催地青年部/奈良商工会議所青年部



一年間、連携推進で奔走!!

平成七年度会長・辻 正敏

「改革の時」から「明日への創造」の時代を経て本年
度活動は、「自律・自立・行
動」そして連携をキーワード
に、「結びつき、紙でつな
ぎ」YEEG連携時代の
をスローガンといたしました。
連携は、まず自会連と
存在基礎である地域の自律
（自立）から始まり、今までの
仕組みを越え、広く国際交
渉して行く中、その後口
が必要となることを確信し活
動いたしました。

所をはじめとして、延べ1
20を超える街を訪問させ
ていただき、いろいろとこ
とを教っていただきました。
また、新しい連携形態を
見せられた、米國視察団
それぞれ思いを抱いた。
「各地アロク大会」、少
数対象で南工会連青青年
部の発展を待、4000人
の参加をい、た、た、た、
南工、ビジネス交流プラザ
も好評だった埼玉南工大
の、「全国大会」、全国のY
EEG会長様にも集まっていた

だき連携の支那と七年度体
制への継承を行った和歌山
県南工会連青青年部、若
狭々全国の会報が集中した
「全国コンクール」、YEEG
活動をより円滑に行うた
め最終まで活動の意見交換
の行われた、「規約改正」
連年においた、全国を奔走
した、「YEEG連携事業」の
推進活動、そして本誌「新
生」の発行等々、内外にア
クティブに活動した組織改
革年度でした。

4人体制になった副会長、
会連連青の要となった事
務理事、プロダク大会の振
興役となったアロク代表
理事、事業推進に精力を注
ぎ込んだ委員長、委員会を
役員会を支えた理事の皆様、
役員会を支えた理事の皆様、
そして我輩など意見をいた
だいた副会長・顧問、増
大する事務局に随分お力
を添えられた、最後は南工
連に厚い声援と多大な協
力をいただいた全国のYEEG
の皆様により御礼申し
上げます、ありがとうございました。

初出向で組織等ゼロから
の組織でした。全国大会、
中央研究開発地決定規程
は良い方向だと思います。
ご協力ありがとうございました。
同席相光(南工)

連携推進した皆様、「御力
ありがとうございました。
一年間、楽しい活動委員会
でした。
漢語顧問(九電)

は会長を始め、多くの人達
と色んな色んな事を争ひま
した。今度自分自身が常
務理事と参ります。本出
に集って一死でした。あり
かたうございませう。
大西(栄美郷)

大海に
足を運ぶも、君の意志
何れも進むや、朝生の友
小野(信二)武生

はじめての出席でいきなり
いたいたは副委員長とい
う大役をなんとも果たすこ
とができ、ホッとしていま
す。皆様のご協力と友情に
感謝致します。
古泉(一)亀田

